

# オフィス街ロードクリーン2018

国土交通省 道路局 国道・技術課

11月1日（木）朝、霞ヶ関・虎ノ門・永田町周辺の中央官庁や民間のビルに勤務する人たちや地元町会などのボランティアによる歩道の清掃が行われました。

この取り組みは、「道路ふれあい月間」行事の一環として平成7年から実施しているもので、今年で24回目となります。始めた当初は、「官庁街道路清掃」として、国道1号の桜田門～虎ノ門間の約1kmのみで実施していましたが、その後、周辺の都道や区道についても範囲に追加し、平成13年からは「オフィス街ロードクリーン」という名称に変更して実施されてきています。当初は8月に実施されていましたが、平成27年から、落ち葉や銀杏の実の清掃を行うため、秋に実施しています。始めた当初は、200人程度の参加人数で始まりましたが、近年は900～1,000人程度の方に参加いただいております。

今回は、国土交通省、同関東地方整備局、東京都、千代田区、港区及び東京地下鉄株が協力して周辺で勤務する方々等に呼びかけを行い、国・地方公共団体22機関及び民間企業等22団体から昨年を上回る約950名の方にご参加いただき、総延長10,930mの歩道の清掃を行いました。当日は天気にも恵まれ、参加された方々は、早朝から熱心に歩道や植込みの落ち葉、銀杏の実を拾ったり、空き缶やタバコの吸い殻などを拾い集めていました。

集めたゴミの量は約108kg（約2.9㎡）になります。このような活動を通して、道路の管理に対する意識が少しでも浸透していただければ、と思っております。

